

令和3年度 ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方 調査研究

研究の趣旨：学びの保障（感染症対策/地理的条件対応）と、指導の充実（遠隔による指導・助言の機会の提供/予約待ち状態の解消）

- GIGAスクール構想の実現により1人1台端末の整備、障害のある児童生徒等に対する効果的な指導法による学びの充実
- 自立活動の指導の充実、遠隔実施によるその機会の確保、センター的機能の発展

指定校：府立宇治支援学校

目的：学習上・生活上の困難さの改善・克服のための、アナログ・デジタル双方からのアプローチの充実

仮説：ICTを活用することでより効率的な**実態把握**ができ、**実態把握**が見える化することで効果の高い指導方法を示すことができるのではないかと。

宇治支援学校
ならではの

指定校：地域支援センターうじ、京都府スーパーサポートセンター
連携先：宇治市・城陽市の小・中学校等の特別支援教育co.

・担任（通常の学級、特別支援学級、通級指導教室）
目的：特別な支援を必要とする児童生徒を指導する教員が活用しやすい内容のパッケージ化

仮説：**遠隔**による助言と支援により、担任等が個のニーズに合った多様な指導を実施でき、そのことが担任等の指導力・資質の向上につながるのではないかと。

<p>【企画1】連携シートのデジタル化（Googleフォーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウド上での実態把握のデータ管理、傾向分析 ・把握した実態の即時的な見える化 ・科学的根拠に基づいた個別の指導計画の作成 ・ICTの即時性と保存性を生かした情報の記録化と業務の効率化 	<p>①遠隔でのやりとりを含めた、児童生徒の実態把握の在り方の研究</p>	<p>【企画1】実態把握のためのアプリケーション活用（Googleフォーム） 授業参観 見る視点（Googleフォーム）</p> <p>【企画2】実態把握の実践事例の蓄積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談におけるタブレット端末を利用した保護者、教員等からの実態把握の際の工夫点の整理 ・遠隔による対象児童生徒等の実態把握の実践事例の蓄積
<p>【企画2】自立活動「見える化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した評価指標のデータ化・可視化 ・ICTを活用した評価データの集積・解析（Googleフォーム、流れ図、参考になる評価尺度例） <p>【企画3】ICTを活用した不登校生への自立活動の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔においても可能な自立活動の指導、健康指導 <p>【企画4】ICTを活用した健康指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した健康面に対する自立活動の指導 	<p>②自立活動や、通級による指導について、遠隔による実施を含めた指導及び評価の在り方の研究</p>	<p>【企画3】研究2年目に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚・聴覚障害支援学級等でのクラウドを活用した自立活動の指導 実践の情報蓄積と共有 ・通級による指導や特別支援学級でのICT機器の使用についての個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成や評価への助言と支援
<p>【企画5】ICTを活用した医療専門職派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全遠隔・半分遠隔での連携の利点と課題の整理 ⇒予算やスケジュール調整を効率的に実施、講師依頼の幅拡大 	<p>③遠隔でのやりとりを含めた、外部の専門家や在籍学級担任等との連携の在り方の研究</p>	<p>【企画4】指導力量向上のための遠隔による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔による相談支援の実施に必要な環境整備の分析 ・外部専門家との相談支援等におけるICTを活用した実践事例の蓄積 ・オンライン上での個人情報の取扱い、機器貸し出し規約作成の検討 ・遠隔による障害理解教育の実施における、在籍学級担任等との連携やオンラインを活用した指導の際の留意点、連携事例の蓄積 <p>よりの確な実態把握等につながるオンラインを活用した研修支援</p>

【目標の到達状況】

視点① 効果的な指導法による学びの充実（学習上・生活上の困難さの改善・克服）

▷動作分析ソフト等デジタル化により、傾向の整理や分析が可能に

▷「流れ図」作成・活用・還元のしやすさ、児童生徒の変容の確認から指導計画の見直し、目標の立て直しやステップアップへ

視点② 自立活動の指導の充実、遠隔による実施によるその機会の確保（活用しやすいICTのパッケージ化）

▷遠隔を効果的に活用する際のコーディネーターの役割（翻訳者、通訳者）